

ACTION



REAR VIEW

ハイパー・バズーカは腰部にマウント可能。



MARKING

①～⑥はマーキングシールの記号です。
※マーキングシールは好みで自由に貼ってください。



※貼り指示は、(03)機のもので、※余ったマーキングシールは好きな所に貼ってください。

WEAPONS



※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) を使用しています。



ティターンズがRX-178 ガンダムMk-IIを実戦で運用した記録は、現在まで知られていない。本機について、もっともよく知られるエピソードが、グリーン・ノア1における奪取事件だろう。コロニー内での慣熟訓練であった3号機が墜落事故を起こした際、その混乱に乗じて民間人の少年(カミーユ・ビダン)が機体に搭乗。さらにコロニーに侵入したエゥーゴのMS部隊に2号機も奪取されてしまう。なお、2号機と3号機のパイロットはともに処罰を受けることはなかった。難を逃れた形となった1号機は、グリプスでの試験中にコロニー内を偵察するエゥーゴのパイロットを発見、攻撃を行っているが捕縛するには至らなかった。しかし、この1号機も後にパイロットであるエマ・シーンが転向した際にエゥーゴが入手している。こうしてガンダムMk-IIは3機すべてがエゥーゴの手に渡り、組織の戦力として配備されたほか、アナハイム・エレクトロニクス社でMS開発プロジェクトに利用された。

なお、ガンダムMk-IIには4号機があったという説もある。後年、この4号機がグリーン・ノア内での高機動試験時に、墜落事故を起こしたとする資料の存在が明らかとなった。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

● 本体等ブルー部: ブルー(50%) +グレー(30%) +レッド(20%)	● 腹部等レッド部: モンザレッド(60%) +シャインレッド(40%)	● 本体等ブラック部: +ブラック(70%) +ブラウン(20%) +ホワイト(10%)	● 胸部ダクト等イエロー部: +ホワイト(60%) +オレンジイエロー(40%)
● 関節等グレー部: ニュートラルグレー(45%) +ブラック(35%) +パープル(20%)	● バックパック等ダークグレー部: ミッドナイトブルー(85%) +ホワイト(10%) +ブルー(5%)	● センサー等グリーン部: デイトナグリーン(100%)	

※ここに掲載している情報は2015年11月現在のものです。

RX-178 GUNDAM Mk-II (TITANS)

TITANS PROTOTYPE MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : RX-178
TOTAL HEIGHT : 18.5m
WEIGHT : 33.4t
TOTAL WEIGHT : 54.1t
GENERATOR OUTPUT : 1,930kw
THRUSTERS TOTAL PROPULSION : 81,200kg
MATERIAL : TITANIUM ALLOY
AND CERAMIC COMPOSITE
ARMAMENTS :
BEAM RIFLE
BEAM SABER
HYPER BAZOOKA
VULCAN POD SYSTEM
SHIELD



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の自己責任となります。

BANDAI 2015 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は塗装してあります。



0201312

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

① → ② の順番で組み立ててください。
Assemble in the order of the numbers ① → ②

➤ パーツの向きや形状に注意してください。
Confirm the direction and shape of the parts.

※部品の向きや左右など、イラストをよく見て組み立ててください。

Such as parts of the orientation and the left and right, please assembled a good look at illustrations.

1

(ボディ BODY)

※まっすぐ取り付けます。

向きをかえます。

(シール) ① (シール) ①

2

(頭部 HEAD)

※カメラアイのシールは選択式です。クリアパーツを効果的に使用する場合は7と8を使用してください。

(シール) ⑦ (シール) ⑧

(シール) ④ (シール) ⑥

(通んで貼る) (シール) ⑨

3

(右腕 RIGHT ARM)

PC3

4

(左腕 LEFT ARM)

組み立て中に使用されているマーク
Please check the following marks.

- ① シール番号 Sticker number.
- ☑ どちらかを選んで取り付ける Select one of the parts and attach it.
- x2 部品を数値の個数作ります Assemble multiple sections as indicated.
- ↔ 反対側も同じように動かします Move the opposite side as well.
- ↑↓ 両側に同じパーツを取り付ける Use identical part/ section for each side.

各部品はニッパーなどで、きれいに切り取りましょう。
Cleanly cut out.

✗ (Incorrect cutting) ○ (Correct cutting)

PC部品は軟質素材のため、つぶさないようにしっかりと取り付けましょう。
Do not crush the PC parts and attach carefully.

✗ (Incorrect attachment) ○ (Correct attachment)

パーツリスト Parts list (X印は使用しないパーツです。)

A1パーツ (スチロール樹脂:PS)	A2パーツ (スチロール樹脂:PS)	B1パーツ (スチロール樹脂:PS)	B2パーツ (スチロール樹脂:PS)
Cパーツ (スチロール樹脂:PS)	D1パーツ (スチロール樹脂:PS)	D2パーツ (スチロール樹脂:PS)	Eパーツ (スチロール樹脂:PS)
SB-13パーツ (スチロール樹脂:PS)	(PC-002) (ポリエチレン:PE)		

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

● ホイルシール……………1
● マーキングシール……………1

5

C1, A23, B133, A21

2

3

4

1

6 x2 2個作る

あし (足 FOOT)

(B23) B13, (A21) A11, C16, PC7

7

(A210) A110, (A29) A19

みぎあし (右脚 RIGHT LEG)

B18, B17, B12, B19, B10

PC8, B11, B12, A133, D21, A132, D210

8

A14, B126, B128, PC6, A120, A126, B136, C17

ひだりあし (左脚 LEFT LEG)

B23, B27, B22, B29, B210, PC8, B211, PC8, B212, A131, D213, A130, D210

A24, B127, B125, PC6, A121, A127, A127, B136, C17, C19, PC5, C20

ようぶ (腰部 WAIST)

C15, C18

PC4, B138, B136, C2, C14, C17, C19, PC5, C20

10

5

7

8

11

バックパック (BACKPACK)

C11, C9, C10, C8, C18, C12, C4, C4

*バンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) 差し込み用 (丸型) BA4-A@ に対応しています。

RX-178 ガンダムMk-II (ティターンズ仕様)

RX-178 ガンダムMk-IIは、ティターンズがフラッグシップ機として開発したMSである。その型式番号からグリプスで開発された8番目の機体であることが分かる。

ティターンズの主導で開発が進められたガンダムMk-IIは、「ガンダム」という名称と設計を受け継ぐことを命題としていた。そのため、地球連邦軍系の技術のみが用いられた。完成式典において、ティターンズの関係者が本機を「我々の、我々による、我々のためのガンダム」と称したと言う記録からも、ガンダムMk-IIに対する期待の高さが窺える。それを証明するものが、「ガンダム」を彷彿させるシルエットと、ほぼ全身規格のムーバブル・フレームが採用されていることである。

ムーバブル・フレームとはMSの「骨格」というべきもので、コア・ブロック・システムを廃し、機体制御を四肢にわたるフレーム全体で担うという、これまでの地球連邦軍系の

セミモノコック構造、ジオン公国軍系のモノコック構造とは異なる新たなMSの構造であった。イジェクション・ポッドを中心に、骨格のようにフレームを構築することで人体に近い極めて柔軟な可動を実現した。しかし、ムーバブル・フレームは技術的にもまだ不完全であつたうえに、材質の問題から強度不足が指摘されていた。この強度不足は脚部フレームに顕著に見られ、グリーン・ノア1での試験までに計6度の設計変更が行われたが、根本的な解決には至らなかった。

こうした問題と、4号機が起こしたとされる墜落事故のため、ティターンズは当初予定していた量産計画を見送っている。確かな機体設計を有しながらも、ティターンズでは活躍の機会がなかったガンダムMk-IIだが、その性能は奪取したエウゴによって証明されたのである。



バルカン・ポッド・システム

頭部コア・プロセッサシステムの大型化により、バルカンは外装となった。銃口は左側頭部のユニットに2基あり、交互に発射される。なお、ラッチの規格が合っていれば他のMSでも装備できた。ケースレス弾を使用。

ビーム・ライフル

出力2.6MWのビーム・ライフルで、側面に設けられたスイッチを操作することでモード変更が可能。また、Eバック方式を採用し、モードによって出力と発射回数に変化する。

シールド

伸縮機構を備えるため、携帯性が向上。裏面にはビーム・ライフル用の予備のEバックやミサイルランチャーが装備できる。また、上部にのぞき窓が設けられているため、シールドを構えながらの射撃も可能。

ハイパー・バズーカ

上部にターゲットセンサーを有し、射撃精度が高い。カートリッジ式で複数の弾種を使い分けられる。ハイパー・バズーカはリアスカート、弾倉はサイドスカートのラッチにそれぞれ装備可能。

ビーム・サーベル

バックパックに2基を装備する。基部が四角柱型で、出力は0.45MW。グリプス戦役初期に運用されていた主力機用のもに比べても高出力であった。

SPEC

型式番号: RX-178
 全高: 18.5m
 本体重量: 33.4t
 全備重量: 54.1t
 ジェネレーター出力: 1,930kw
 スラスター総推力: 81,200kg
 装甲材質: チタン合金セラミック複合材
 武装:
 ビーム・ライフル
 ビーム・サーベル
 ハイパー・バズーカ
 バルカン・ポッド・システム
 シールド

※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) を使用しています。 ※データは劇中の設定です。

